

別紙

事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	下北山スポーツ公園施設宿舍 やすらぎ屋根及び外壁整備工事	下北山村	1,155,000	1,155,000	総事業費 6,037,200

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	下北山スポーツ公園施設宿舍 やすらぎ屋根及び外壁整備工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		下北山村			
交付金事業実施場所		下北山村大字上池原			
交付金事業の概要		・昭和58年度に建設された当該施設は築30年を経過しています。現在まで内部の改修は実施してきましたが、外部の改修は実施しておらず、全体的に老朽化が進んでおり、このまま放置すれば雨漏りが発生し、屋根下地材にも影響が出て改修費用も増大することが予想されます。また、外壁については汚れが目立ち景観が悪い状態であるため、塗装工事(A=658m2)を実施します。			
総事業費		6,037,200	交付金充当額	1,155,000	
			うち文部科学省分	.....	
			うち経済産業省分	1,155,000	
交付金事業の成果目標		改修を実施することで、施設の老朽化を防ぎまた景観の向上にもつながり、施設利用者の利便性・快適性が確保され、また現段階での改修により将来的にかかる費用を軽減します。			
交付金事業の成果指標		過去3年間の宿泊施設利用者数のデータでは、平成26年度11,600人、平成27年度10,100人、平成28年度は9,800人となっており、利用者数が減少傾向にあるため、景観をよくすることで、利用者数維持に努めます。			
交付金事業の成果及び評価		改修を実施し施設の老朽化を防ぎまた景観の向上にもつながり、施設利用者の利便性・快適性が確保され、また現段階での改修により将来的にかかる費用を軽減することができました。平成29年12月末現在で利用者数が8,300人であり、今後はHP・SNS等を活用し利用者数の増加に努めます。			
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方	
建屋改修工事		指名競争入札		株式会社山和組	
		計		6,037,200	
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		該当なし